弘前大学 オンラインサマープログラム 2022

概要

- **オンデマンド**で受講できるオンライン授業
- **初級～中級、中上級～上級**の 2 つのレベルで行われる日本語コース
- **英語**と**日本語**の2言語で行われる日本文化講座
- 総勢 **20 名**
- 出願料･授業料**免除**

単位認定

参加者は、プログラムの 3 つのコースをすべて完了する必要があります。

日本語（A/B）1単位、**日本の文化史** 1単位、**日本の現代文化** 1単位

＊ このサマープログラムの日本語コースは2つに分かれています。A コースのレベルは初級から中級で、日本語能力試験の N4 から N3 レベルの人対象です。B コースのレベルは中上級～上級で、日本語能力試験の N2 以上の人対象です。コースの内容をよく読んで、自分のレベルに応じたコースを選んでください。

お申し込みの前に

学生は以下のことを確認する必要があります。

- 自国で **Microsoft Teams** を使用することができる。
- 英語の指導を理解し、英語で文化課題を提出できる英語力か、日本語の指導を理解し、日本語で文化課題を提出できる日本語力のどちらかを有すること。

お申し込み方法

- お申込みは、協定校のコーディネーターにお願いします。
- 学生からの直接の応募は一切受け付けません。

コース 1-A 日本語 コース A

担当 教員： 髙橋 千代枝　助教

レベル:**初級 ～ 中級**（日本語 能力 試験 N4～N3程度 ）

コースの 目的

① 自分 の 生活 の 身 の 回り にあることについて、簡単 な 日本語 で 話 せるようになる

② 聞く 人 の 印象 に 残る 自己 紹介 ができるようになる

このコースでは、弘前 大学 の 大学生 が話している 短い 動画 を 見て、ワークシートの 問題 に 答えたり、自分 で話しているところを 撮影 したものを 提出 したりして初級日本語の 勉強 をします。

簡単な自己紹介から 始め、大学の紹介や 毎日 の生活、大学の 近くにある 観光地 の紹介や、青森県 の 伝統的 な 工芸品 である「津軽 塗 」についても 少し勉強します。コースの 後半 では、友人 同士 で「趣味 」と「将来 の 夢 」について話している動画を見て、自分の趣味や将来の夢を紹介する時に 必要 な 語彙 や 文法 を勉強します。最後 に、1課 ～6 課までに勉強した日本語を 使って、聞く人の印象に残る「おもしろい自己紹介」を 作って、動画を提出します。

第 1 週	**簡単な自己紹介**（名前 、所属 、学年 、出身地 、あいさつ）
第 2 週	**大学紹介**（大学の紹介や自分の生活について話すときに使う語彙や文法、表現 などを学ぶ／自分の大学にあるものや 好 きな 食 べ 物 を日本語で紹介する）
第 3 週	**観光地の紹介**（観光地を紹介する時に使う語彙や文法、表現などを学ぶ／自分の 住 んでいるところの観光地について紹介する）
第 4 週	**コラム「津軽塗」**（さくら 祭 りに 出店 している「津軽塗」の 店員 さんにインタビューしたビデオを見て、津軽塗について 知 る／自分の 国 の伝統工芸を紹介する／何 かを作る 説明 をするときに使う日本語を 学 ぶ）
第 5 週	**趣味について話す**（友人同士が自分の趣味について話しているところのビデオを見て、自分の趣味について話すときに使う語彙・文法・表現を学ぶ／自分の趣味について短い 作文 を 書 く／クラスメートか日本人のパートナーと趣味について話しているところをビデオに 撮 って提出する）
第 6 週	**将来の夢について話す**（友人同士が将来の夢について話しているところのビデオを見て、自分の将来の夢について話すときに使う語彙・文法・表現を学ぶ／クラスメートか日本人のパートナーに、夢についてインタビューしているところをビデオに撮って提出する）
第 7-8 週	弘前大学の大学生が「おもしろい自己紹介」をしているビデオを見て、その 内容 を 理解 し、ワークシートの問題に答える／自分の「おもしろい自己紹介」を日本語で作って、ビデオを作って提出する

コース 1-B　日本語コース B

担当教員：　長尾和子　准教授

レベル：**中上級～上級**（日本語能力試験 N2程度以上）

コースの目的

① 日本語で社会的な話題について意見交換をする

② 日本語の生の資料を使って、話題に関連する文法や語彙を習得する

　このコースでは生の資料や教材の読解・聴解からインプットを得て、ノートテイキング、インタビュー、ディスカッション、レポートの書き方などのアカデミックスキルを学びます。

　自己紹介のビデオ（L1）や地域紹介のパンフレットづくり（L3）をし、弘前大学の日本人学生と知り合い、個人的・社会的な話題について話します。

第１週	**グループのメンバーを知ろう** 自分について知ってもらう・クラスメートについて知る　性格のことば
第２週	**弘前について知り、自分の住んでいる町のパンフレットを作ろう** 弘前ってどんなところ？　弘前のパンフレットを読む 自分の町の魅力を伝えるミニ・パンフレット作り
第３週	**社会のアクションについて知ろう** メモを取りながら、ラオスの子供たちに絵本を届けるプロジェクトのインタビューを聞く
第４週	**子供のころについて詳しく話そう** 子どものころ好きだった本について話す：あらすじ、一番好きな場面、この本が好きな理由や子供のころの思い出
第５週	**社会問題を解決するための取り組みについて調べよう** フードマイレージって何？インタビューを聞いてノートをとり、良い点と悪い点をまとめる
第６週	**弘前の取り組みを知ろう　インタビューの仕方** 「青森のだし活」について読んで　ノートをとる　　インタビューをする
第７週	**ニュースについての意見をまとめよう** 気になるニュースを選んで、自分の意見をロジックツリーでまとめる
第８週	**ディスカッションの仕方・レポートの書き言葉** ニュースについてディスカッションし、レポートにまとめる

コース２　日本の文化史

－ 津軽近代文化史の概説

担当教員：　サワダ　ハンナ　准教授

　このコースではバーチャル・フィールドトリップに出かけて、弘前大学が位置する北日本津軽地方のバイタリティーに満ちた地方文化を形作った歴史をたどります。

　5500年前に狩猟採集民だった縄文人が暮らしていた遺跡から出発し、その後文明の栄えた遺跡を訪れて米の栽培がもたらした社会の変動を確認します。封建時代の生活について学ぶために弘前城を中心とする城下町を探検し、忍者屋敷や剣術の道場を覗きます。今なお続く様々な生活習慣の由来となる信仰を知るためにイタコが死と生の世界を結ぶ地蔵尊へ赴き、お寺で座禅体験もします。その後、この文化背景の中で生まれた音楽、芸術やナラティブを味わい、近代化のインパクトと伝統の再構築について考えます。

第１週	**縄文文化** － 三内丸山遺跡
第２週	**米栽培と文化の変動** － 高屋敷舘遺跡、浪岡城跡、堀越城跡
第３週	**法権社会** － 弘前城
第４週	**城下町** － 忍者屋敷と剣術道場
第５週	**信仰** － 坐禅体験と賽の河原地蔵尊
第６週	**音楽** － 津軽三味線
第７週	**ねぷた絵とナラティブ**
第８週	**近代化と伝統の再構築** － 弘大カフェ

コース３　日本の現代文化

- イメージと感性のための素描

担当教員：　諏訪　淳一郎　准教授

出典：Wikipedia『鍛冶町』https://w.wiki/4z8Q

　この授業では、近年ますます注目されている非西洋的な観点から現代文化について扱い、事例検討を通じてグローバル社会における相互理解と持続可能な発展に向けたオルタナティブな視座を得ることを目的とする。それぞれの講義は日本の現代文化について内的な視点から論じていく。前半の ４回では、「～になる becoming」という概念から「カワイイ」の美学、祭り、持続的な地域の経営体について扱う。後半の4回では、『千と千尋の神隠し』と『鬼滅の刃』について、「異界」をキーワードとして作品のリアリティについて分析する。

第１週	**「なる」**
第２週	**カワイイの美学**
第３週	**祭りという装置**
第４週	**持続可能になるということ**
第５週	**異界の思考**
第６週	**『千と千尋の神隠し』**
第７週	**『鬼滅の刃』（1）**
第８週	**『鬼滅の刃』（2）**